

(>_<)大腸ポリープ切除



半日以上点滴を打たれ、重病人状態

毎年、年初めに健康診断を行っています。35歳以上は広島西医療センターで成人病の検診を受けます。私は、胃カメラは毎年受けており、大腸内視鏡も50代の後半から3年に一度程度受けております。今回も見てもらったらポリープが見つかり、「河野さんまだ大きくないから様子を見てもいいけど、折角見つかったから取っておく？」と毎年肝臓の数値で酒のことをうるさく言われる、言葉はきついけど、きっと心は優しいT先生に言われ、4月に一泊入院で切除してもらいました。自分の腸の中を一緒に見ながら取ってもらうのは良い気持ちではありませんし、ポリープをリングで焼き切る時は痛くはないのですが、思わず「ウッ!!!」と声が出てしまいました。

この事を同年代以上の方々に話をすると、「ワシは毎年取ってもらいよる」と言う強者が結構おられ、大腸ポリープの切除はとてポピュラーな事が分かりました。

後日、取ったポリープの検査結果を聞きに行きましたら、にっこりと「河野さん、ガンじゃなかったよ!」とT先生。「じゃあまた3年後ね!」と再会を約束されました。(啓)

給湯管(銅管)漏水多発!



給湯管から漏水しています。

水道の検針の際に、前回よりも多くなっていると「漏水していると思われるので修理してもらってください」と水道局の検針の人より伝えられます。それで水道局にどうしたら良いか問い合わせると大竹市では本社付近以北、廿日市店では宮内・園園エリアは「ゲインンハウスで修理してもらって下さい」と言われているようです。漏水修理は、修理箇所を特定するのが大変で、配管を追ってあちこちを掘って探すため、クタクタになります。

近年増えている漏水が給湯管からの漏水です。今から20年~40年程前の銅管で、原因は諸説ありますが、ピンホールが発生し漏水が起こっています。

左の写真は浴室の下で漏水が発生しており、築後30年位でしたので浴室のリフォームを行い、配管を新しくさせていただきました。

上記の築年数の給湯管の大半は銅管が使われていますので、水道局の検針の人から「漏水してますよ」と言われたら、給湯器の給水バルブを閉めてメーターで確認してみてください。漏水の場所を特定するのってホント大変なんです!

サービス担当: 里

<お知らせ>

・助け隊中止します

毎年4月に“住まいのクラブ会員”及び“サポートクラブ会員”の皆様にご案内してしてしておりますが、“排水柵の清掃”を行う“助け隊”ですが、コロナウイルス感染拡大により様々な活動の自粛要請が出ている状況より、本年度は見合わせることにしました。お待ちいただいていた方々には申し訳ございませんが、来年度までお待ちください。

・スタッフ異動

廿日市店の太田君退職により、本社勤務若手のホープ中谷君が廿日市店に異動します。入社4年目24歳の明るくてフットワークの良い若者です。廿日市の皆様どうぞよろしくお祈りします。

「住いの困った」は ゲインンハウス 大竹店・廿日市店共に
フリーダイヤル0120-505-375 URL:<http://www.geinan-house.co.jp/>
最後までお読みいただき有難うございました、次回は8月頃の予定です。(啓)



河野

みなさんこんにちは!ついこの前正月を迎えたかと思っていたら、あれよあれよという間に新年度を迎えてしまいました。ゲインンハウスも新しい元号となった令和2年度のスタートです。

さて、上の写真は4月8日一年で月が地球に一番近づいた「スーパームーン」の写真です。何とか住まいる通信の表紙を飾る写真が撮れないかと挑戦しましたが、残念ながら、にわかカメラマンではそのような写真を撮るはずもなく、ネットの写真を引用させていただきました。それにしても、今年のスーパームーン大きかったですね、「月ってこんなに大きいんだ!」と60年余り月を見てきたにもかかわらず、今更見入ってしまいました。皆さん見られましたでしょうか?因みに次回のスーパームーンは来年の5月26日だそうです。



と、同じ頃、桜は満開となりちょうど見頃。昨年、本社近くでの公園での花見をこの通信でご紹介させていただきました。公園は貸し切り状態で、しかも花吹雪の中での花見がとても良かったので、今年も同じ場所でやろうと早くから日程を決め、3月末の日曜日が最適だろうと行いました。残念ながら昨年と違って、少しばかり早かったようで5分咲きでの花見となりました。花見もコロナ感染より自粛モードに入っていましたので、広島県知事による花見の行い方の指針に沿って慎ましくも?楽しく行った次第です。と、この頃までは当地広島でも感染者が少なかったのがこのようなことができましたが、以後状況は益々悪化し、この通信を書いている4月中旬には緊急事態宣言が全国へと広がり、かなり緊迫した状況となっています。この通信を皆様に読んでいただいている頃には、感染が収束に向かっていることを切に願っております。

さて、コロナウイルスによる感染拡大による被害はまさに想像を絶するほどの規模となり、治療の最前線で戦っておられる医療従事者の方々が、自らの感染のリスクを負いながら働いておられる姿には本当に頭が下がる思いです。このように、医療従事者の方々には病気を治すという社会的な使命があります。私たち住宅に関わる者には、安心安全な住まいを守る責務があると思います。彼ら医療従事者の命を張ってまで働く姿を見ると、私たちは地震や風水害などの予期せぬ自然災害がこの地域に起こった時、どのようにあらねばならないかを考えさせられます。そのためにも、そのようなことを想定した準備を一つでも始めて行きたいと思っております。(啓)

お世話になったゲイナンハウスのお客様へ

太田 剛史



今年2月社内旅行：通天閣にて



H23社内旅行：石垣島にて
滝に打たれる



入社3年目：北九州で業務発表
同業者から感心される



熱唱：歌うは持ち歌スピッツの曲
皆歌声に酔い？しれます(笑)

5月15日付をもちまして14年間働かせて頂きました、ゲイナンハウスを退社させていただく事になりました。入社以来ゲイナンハウスのお客様には大変お世話になりました。

私は入社してから廿日市勤務が長かったので、特に廿日市方面のお客様には大変お世話になったかと思えます。退社後は実家で家族がやっている農業(米作り)と一緒にします。

本来であれば直接ご挨拶を申し上げる所ではございますが書面にて失礼させていただきます。

お客様とのエピソードでは入社して2年程でしたが、お風呂を施工させて頂いたお客様から『うちの工事が終わっても、これから次のお客様に商品の説明をする時に、この商品を使ったことがないと説明しにくいじゃろ、仕事が終わったら、うちに来てお風呂に入って帰りなさい』と言って頂いた事がありました。

その時は、お風呂だけではなく夕飯までご馳走になり大変楽しく過ごさせて頂きました。

また実際に自分が施工したお風呂に入浴することにより、その後の営業活動に繋げる事も出来ました。

また私は廿日市の修理も担当させて頂いていました。

修理の場合は工事とは違い割と高頻度でご依頼頂く事があります。

何度もお邪魔させて頂いていると、作業の終わりにはコーヒーとお菓子がセットで準備してあり、『一緒に3時の休憩をしよう』と言って下さる事も多くありました。

また修理依頼の電話を頂いた時に『太田さんをお願いします』と言って指名して下さいお客様も多くいらっしゃって、大変うれしく思っていました。

上記に述べさせて頂いた以外にもお客様とは沢山の関わり合いをさせて頂きました。

今思えば、私はお客様に大変恵まれていたと思います。

退社後も廿日市市や大竹市に仕事やプライベートで行くこともあるかと思えます。

もしお気づきの時には、お声を掛けて頂ければと思います。もちろん私が先に気づいた時にはお声を掛けさせて頂く事もあるかと思えます。その時はよろしく願います。

最後になりましたが14年間大変お世話になりました。

皆様のご健康と、ご多幸を心より祈念して、ご挨拶とさせていただきます。

令和2年4月吉日

太田 剛史

今でも会社訪問に来た高校生のような太田君を思い出します。入社2・3年の頃あるお客様から「社長！高校生のような者をうちに来さすんか？」と苦情を言われたことも。生来の真面目さと辛抱強さで頑張ってくれたおかげで、「太田さんに来てもらってください！」とたくさんのお客様から声をかけていただくように成長してくれました。前回のこの通信でお知らせしたところ、何人ものお客様から暖かい言葉やお気持ちをいただき、改めて、太田君の日頃の仕事ぶりのお客様に喜ばれていたかを痛感した次第です。これからは、安芸高田市の実家で農業をするとのことですが、きっと地域になくはならない人間になってくれるものと信じております。太田君、これまで本当にありがとうございました。

令和2年4月吉日 河野 啓一

ゲイナンハウス恒例社内旅行
今年は大阪で“笑って食い倒れ”の珍道中！



水上バスから眺めると、大阪って水の都だと再認識です。



水上バスの待ち時間に、中谷君がけん玉の技を披露！上手！



通天閣をバックに河野君はカメラマン



なんばグランド花月は、入口も人・人・人

毎年の恒例行事の社内旅行。創業7年目の昭和52年に道後温泉に行つて以来ほぼ毎年、“温泉で一年の疲れを癒す”をキーワードで中四国九州の温泉地に行ってきました。ところが今年の幹事の西村君と中谷君が企画してくれたのが、今年の社内旅行は「大阪で“笑って食い倒れ”の旅！」と、何と温泉の無い旅行です。コロナ感染も話題にはなりましたが、まだ全国での感染者が30名程度でしたので、よもや今のような状況になろうとは思いませんでした。

一日目

新幹線で大阪に移動し、水上バスで船からの市内観光の後、大阪城見学。そして夜は道頓堀でカニ！コロナはど吹く風と、戎橋はものすごい人で溢れかえっていました。いつもは温泉宿での宴会ですので、浴衣で一同“飲むぞー！”の宴会ですが、今回はホテルに帰らなくてはなりませんので、いつになく静かな宴会と相成りました。宴会の後、里・竹内・私の三名はさっさとホテルに戻りましたが、若者たちは大阪の夜を堪能したとか・・・

二日目

朝から通天閣に上り(実は私初めて)大阪を一望の後、ソース二度漬け厳禁の串カツを堪能の後、今回の旅行のメインイベント“なんばグランド花月”へ。1000人以上入るホールは満席で、後ろには立ち見のお客さんが一杯！

いやー笑いました。若い芸人の漫才も面白かったけど、スッチーの新喜劇は面白くて笑っぱなしでした。ここも初めてでしたけど、時にはストレス発散にホントおススメです。

締め、大阪風のお好み焼きを食べて広島への帰路に

食べて・飲んで・笑って、皆二日間でお腹回りも大きくなった楽しい旅行でした。



そして締めは我々広島県人にとっては、大阪風お好み焼き

毎年恒例の社員旅行。昨今社員旅行などの社内行事が廃れていく中、わが社は、時代の波とは全く関係なく、老いも若きも年に一度の社員旅行を楽しみに積み立てをしています。さて、次回は5年に一度の2泊3日の旅行です。今年の幹事の宮本君、どこに連れて行ってくれるのかワクワクです！(啓)

